

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	スーパー（販売促進担当）	・来客数が前年比6%、買上単価が10%伸びており、売上が上向いているので今後も良くなる。
		コンビニ（経営者）	・来客数の増加で品ぞろえに幅や量が出てきている。一皮むけたという感じがしている。更にニーズにこたえられるように、皆で努力しているところである。
	やや良くなる	一般小売店〔ワイン〕（総務担当）	・新製品の出足が好調である。
		百貨店（販売促進担当）	・今月オープンしたショッピングセンターも2、3か月すれば影響力は薄れる。また、春夏の衣料品が今の売行きよりも悪くなるということは考えられない。
		コンビニ（店長）	・道路の開通工事が控えているので、それがうまくいけば良くなっていく。
		住関連専門店（仕入担当）	・商品特性上、気候に左右されがちであるが、今後は園芸商材を中心に動きの活発化が期待できる。特に、今年の連休はまとめた休みが取りやすいカレンダーなので、販促も打ちやすい。
		一般レストラン（経営者）	・来客数は前年並みであるが、単価的には上向きであり期待できそうである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊の増加に伴い、レストラン利用、会議、宴会等の売上が増えつつある。少しずつではあるが、回復の兆しがようやくみえてきている。
		タクシー（経営者）	・夜の動きが少し良くなってきたので、この先も良くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・来客数は堅調に伸びており、今後も4～5%の伸びが期待できる。単価は依然として同じくらいのところで動いている。
		ゴルフ場（副支配人）	・春に向かってようやく取り込み、引き合いが頻繁に来るようになってきている。燃料価格が安定してきているので、売上、入場者数が増加すれば収支に跳ね返ってくる。暖冬の影響もそのまま余韻が残っているので、春先の取り込みは前年を若干上回り、良い推移である。コースにおいても同じような状況が出ているので、総体的には良くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・前月に引き続き来客数、販売高、件数共に伸びている。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・客の買い方は今までと同じように非常に慎重で、余計な物は買わない。
		百貨店（販売促進担当）	・郊外のショッピングセンターオープンに伴う来客数の減少が予想される。
		スーパー（統括）	・県内IT産業を始めとする製造業等の好況を受け、既存店は5か月連続で前年同期をクリアし、来客数、点単価共に伸びている。現状の消費マインドはしばらく維持できるとみている。
		家電量販店（店長）	・商品的にも明るい材料がない。今後急速に地上デジタル関連の商品開発が成功しないと、大きな伸びは期待できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新卒者の動きもあり今月の販売量は増加したが、これも長くは続かない。今後、販売量増加につながるような要素はない。
		乗用車販売店（営業担当）	・フレッシュマンの商談、契約が少々出ているが、全体的にはまだ動きが鈍い。
		乗用車販売店（販売担当）	・近隣の観光地ではいまだに小さな旅館やペンション、民宿の倒産、破産宣告などが出ている。今年に入ってから、いくら宣伝しても来場者数が増えないので、ゴールデンウィークに向かってもさほど景気が上向くとは思えない。このまま今の悪い状態で推移していく感じがしている。
その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）		・繁忙期も一段落し、新店舗への関心も落ち着いてくると考えられるため、例年並みの販売に戻ってくる。	
タクシー運転手		・一時期と比べ、1回当たりの運賃がかなり低額になっている。あいさつ回り等も一度タクシーを降りてまた呼ぶという状況なので、本当に景気が悪くなっている。	
ゴルフ場（従業員）		・予約状況は前年同様の動きなので、天候次第で入場者数が増減する程度で変わらない。	
ゴルフ場（支配人）	・4月上旬は地方選挙の影響もあり、土日の予約を中心に低迷している。また、ウェイトレスなど、新規のアルバイトの採用が厳しくなっている。		

	競輪場（職員）	・競輪で一番大きな大会である日本選手権が行われたが、売上は前年度と同じだったので、このまま推移するのではないかとみている。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] （職員）	・当地区では来月から条例で深夜帯の青少年への規制が強化されるため、来客数に対する不安、懸念がある。
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	・3月は車検台数が1割程度増えたが、一般整備及び板金等は相反して大きく減少している。
	設計事務所（所長）	・周囲の状況や、新年度になってすぐに公的機関から発注があるとは考えられないことから、まだまだ良くなるとは思えない。悪いままの現状で変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・購入に対する客の慎重な姿勢は、今後も変わらない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・豊富な品ぞろえや価額や遊びの空間等、大型店は毎日がイベントのようで商店街にはない楽しさがあり、人が集まっている。例年この時期の商店街は、春や夏の祭りなどで集客があるので、今後の商店街催事の仕掛け次第である。
	百貨店（総務担当）	・大型ショッピングモールに客が遊びに行く機会が多くなったようで、当店の来客数が減少している。他でついで買いを行い、地元ではお金を落とさない客が目立って多くなっている。
	一般レストラン（業務担当）	・ガソリン小売価格が上昇を始めたことに加え、客が参院待ちの様子見て、5～6月の宴会予約は前年を下回っている。通販部門は前年を10%程度上回っているが、会社全体のマイナスをカバーするところまでではない。
	都市型ホテル（経営者）	・近隣にチェーンのホテルがオープンしたため、最悪の場合価格競争が激化し、低価格でないと売れなくなる可能性がある。
	タクシー運転手	・運賃値上げの予定があり、乗り控えが懸念される。
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	・法人関係の車両が激減しており、先が読めない状況である。
	住宅販売会社（経営者）	・基準金利上昇により事業所側のコスト増が見込まれるが、それに対応した販売価格の値上げは不可能である。価格据置きによる利益減が見込まれる状況で、良くなる要因は見当たらない。
悪くなる	コンビニ（店長）	・現在造成中のところも含め、当店の近くに3軒コンビニができる予定で、オープン後は来客数が非常に少なくなるので、悪くなる。
企業 動向 関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	食料品製造業（製造担当）	・新製品の投入による市場確保、拡大により、やや良くなる。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・例年の特注品のほか、受注の増加がやや期待できる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・新規に受注した製品の数量が、緩やかではあるが多くなる見込みである。
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・取引先各社の来期方針説明会が開催されているが、建設機械関連の取引先を中心に引き続き拡大基調である。また、新規に自動車関連の引き合いも来ている。
	新聞販売店 [広告]（総務担当）	・企業の賃上げは各社共、前年を上回る金額を予定していると聞いている。また、複合店のオープンでしばらくは誘客商戦が活発に続きそうである。
変わらない	化学工業（経営者）	・今のところ注文が順調に入ってきているので、6月までは工場も順調に稼働しそうである。
	金属製品製造業（経営者）	・トラック関係は、2007年問題で4月以降の特殊車両等の低迷が予想されたが、引き続き好調のようである。取引先の生産会議の話でも、2007年上期の生産計画は2006年下期の生産実績を上回る計画となっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・仕事の話だけなら一杯あるが、具体的に見積りや試作という段階の話ではない。まだ慎重な姿勢で、どんどん世の中に製品を出そうということまでではないので、しばらくは厳しい状況が続く。
	広告代理店（営業担当）	・新年度販促予算は同一クライアントベースで10%減少している。使う経費に対する集客効果があまり良くないのが原因のようである。
	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	・引き合い、受注量共に、活発に推移しており、今後もこの状況が続く。

	やや悪くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・4月以降の注文が非常に少ない状態である。大企業は良いようだが、当社のような零細企業は非常に厳しい状態が続いている。
		不動産業(管理担当)	・テナントの状況は増減がないが、延期になっていた1フロア全体の原状回復工事が1~2か月中にあるため、その分費用が発生する。また、オーナーからの強い要請で管理契約価格の大幅な引き下げは避けられない見通しである。
		その他サービス業[放送] (営業担当)	・年間契約のタイムコマーシャルは電機、自動車を中心に横ばい状況にあるものの、官公庁は前年に引き続き3%程度減少の見込みである。スポットコマーシャルについては、不動産、自動車は横ばい状況にあるが、流通、小売、サービス業は期間が短く小口化している。イベント受注は競争が激しくジリ貧状態にあり、先行き不透明である。地方のラジオ広告収入は広告費の多様化等により厳しい状況が続いている。
	悪くなる	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・3か月の見通し上でも受注量は前年比10%減、加えて材料は高値安定である。非常にコスト転嫁がしにくい状況の中で、コスト削減要請も来ているので、非常に収益状況が悪くなっている。
		建設業(総務担当)	・地方都市では民間工事の期待はできず、原価割れ工事物件になりかねない状況である。公共工事も激減状況が続いており、民間同様に原価割れ受注になりかねない状況である。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所(職員)	・大手からの求人はないが、関連会社、派遣、下請といった、あらゆる業種の小零細企業からの求人が出ている。
		学校[短期大学](就職担当)	・企業側の動きが早いのに比べ、全体的に学生の動きが鈍い。合同企業ガイダンスへの学生の参加動向や企業側のエントリー数の話、直接学生とかがかわるなかで、そのように感じている。今後その動きに対して、企業側が採用活動の動きを強める可能性がある。
	変わらない	職業安定所(職員)	・求人数自体は増加しているが、急激に新規求人が増加するような要因は見受けられない。
		職業安定所(職員)	・このところ求人数、求職者数共に減少傾向にはあるが、有効求人倍率は大きな動きがないので、あまり変わらない。
	やや悪くなる	職業安定所(職員)	・紹介就職者数は増加傾向で推移しているものの、増加幅が縮小傾向にある。また、新規求人数は大幅に減少している。
悪くなる	-	-	